

雄国沼湿原

【おぐにぬましづげん】

雄国沼は猫魔ヶ岳の火口跡に出来た磐梯高原でも最も古いもので、沼のほとりには、ミズバショウやニッコウキスゲ、ヒオウギアヤメなどの大群落があり、国指定の天然記念物となっています。

湿原植物の数は、280種に及び、ニッコウキスゲや外輪山の山肌に咲くレンゲツツジがみごとです。



見頃
5月

ミズバショウ

花に見えるが仏炎苞は葉の変形したものである。仏炎苞の中央にある円柱状の部分は小さな花が多数集まった花序(かじょ)である。開花時期は低地では4月～5月、高地では融雪後の5月～7月にかけて。
葉は花の後に出現。根出状に出て立ち上がり、長さ80cm、幅30cmに達する。



見頃
6月

レンゲツツジ

高さ1～2mの落葉低木。4～6月に葉が出たのち葉が開くのと前後して直径5cmほどのロード状の花をつける。果実は蒴果、長さ2～3cmの円筒状で、10～11月に熟すると5裂して小さな種子を飛ばす。つぼみの様子が蓮華に見えることから名付けられたという。



見頃
6月

ワタスゲ

高さ30～50cm。花期は5月～6月。白い綿毛を付ける果期は6月～8月。花が終わると直径2～3cmの名前の由来ともなっている白い綿毛を付ける。この綿毛は種子の集まりである。



見頃
7月

ニッコウキスゲ

花期は6月下旬から7月上旬。草原・湿原を代表する花で、群生すると山吹色の絨毯のようで美しい。高さは50cm～80cm。花茎の先端に数個つぼみをつける。花はラッパ状で、大きさは10cmぐらい、花びらは6枚。朝方に開花すると夕方にはしぼんでしまう一日花。

自然とのふれあいを大切に

4つのマナーと心がけ

1. 自分のゴミは持ち帰りましょう。
2. 木道や登山道から外れた所に踏みこまないで下さい。
3. 植物や昆虫をとらないで、落ち葉もそのままにしましょう。
4. タバコの投げすてはやめて、携帯灰皿等を利用しましょう。

途中トイレがないコースが多いので、歩く前に用を足しておこう。
雄国は標高が高く、寒いところ。防寒具と雨具は忘れずに。
バードウォッチングをしている人もいますので、さわがしくしない。
歩くコースと所要時間はきちんと確認しよう。
自然体系・環境保護のため、雄国沼へのペット同伴は、ご遠慮下さい。
通行の妨げとなりますので、路上駐車はご遠慮下さい。

雄国沼全般についての問い合わせ

北塩原村役場商工観光課(雄国沼施設等管理運営協議会事務局) .0241-32-2511
喜多方市役所観光交流課 .0241-24-5243 喜多方市塩川総合支所産業建設課 .0241-27-2122

規制についての問い合わせ

雄国沼自動車利用適正化連絡協議会事務局(喜多方市役所観光交流課内) .0241-24-5243

シャトルバス運行についての問い合わせ

会津乗合自動車(株) 本社 0242 22 5560 (平日8:30-18:00)
会津乗合自動車(株) 喜多方営業所 0241 22 1151 (全日6:00-20:00)

ようこそ!花咲く雄国へ

自然保護と交通安全のために

雄国3林道オーバーユース対策 シャトルバス運行のお知らせ (マイカー規制)

2019年版



